

疑問詞+to +動詞	① I know how to use these products. (私はこれらの製品の使い方を知っています。)
---------------	---

① 「どのように…するか」、「どこで…すべきか」⇒【疑問詞 + to + 動詞の原形】
疑問詞のあとに「to+動詞の原形」(不定詞)がくると、ひとかたまりで意味を持ち、動詞の目的語になる。
「どのように…するか」⇒【how to…】
「どこで…すべきか」⇒【where to…】
「なにを…すべきか」⇒【what to…】
「いつ…すべきか」⇒【when to…】

Designs and Products for Everyone
 全ての人のためのデザインと製品
 forは「…のために」という意味の前置詞。

In this exhibition, you can see and touch some universal design products first-hand.
 この展示では、いくつかのユニバーサルデザインの製品に直接見て触れることができます。
 someは肯定文では、「いくつかの」という意味。否定文、疑問文ではanyを使う。First-handは「直接」という意味。

You will learn how to use them easily.
 みなさんはそれらを簡単に使う方法を学んででしょう。
 ①の説明を参考にする。

You will also learn where to find universal design facilities in our city.
 みなさんはまた、私たちの市でユニバーサルデザインの設備をどこで見つけたらよいかを学んででしょう。
 ①の説明を参考にする。

Please come and learn.
 どうか学びに来てください。
 come andは「…しに来る」という意味。

- ① 全ての人のためのデザインと製品
- ② この展示では、いくつかのユニバーサルデザインの製品に直接見て触れることができます。
- ③ みなさんはそれらを簡単に使う方法を学んででしょう。
- ④ みなさんはまた、私たちの市でユニバーサルデザインの設備をどこで見つけたらよいかを学んででしょう。
- ⑤ どうか学びに来てください。